

## 媒海

Baikai

シム・ウヒョン

SIM Woo Hyeon

造形芸術学科

展示会場 / ギャラリー港民館

展示期間 / 2024年4月(予定)

2019年12月人々の生活を一変させた新型コロナウイルス(COVID-19)。未知の伝染病ということで、ただ恠々と感染の広がりを見つめながら自粛とともに国境が封鎖された。パンデミック以前、韓国釜山から年間40万人を超える観光客が国境の島である長崎県対馬に入国していた。しかしCOVID-19により2020年から3年間、海外観光客はゼロだった。2023年2月、封鎖された国境の門が再び開けられ、韓国釜山から訪れた観光客により対馬の全地域で観光を楽しんでいた。この写真は日韓を纏わる関係の媒介として、対馬とその海を表現した作品である。



個展「媒海」 ギャラリー港民館 600×900mm 25点組中1点  
Digital pigment print, acrylic plate 2023年 長崎県対馬市上対馬町



個展「媒海」 ギャラリー港民館 450×300mm 25点組中8点 Digital pigment print, acrylic plate 2023年  
 上左から、長崎県対馬市美津島町、長崎県対馬市厳原町、長崎県対馬市上対馬町、長崎県対馬市上対馬町  
 長崎県対馬市上対馬町、長崎県対馬市上対馬町、、長崎県対馬市上豊玉町、長崎県対馬市厳原町